

「課題名：当院におけるイブリツモマブチウキセタン治療の施行状況と副作用の発現状況の調査」について

○ 研究の意義・目的

当院でのイブリツモマブチウキセタン（以下、ゼヴァリン®）施行患者について患者背景、前治療レジメン歴、副作用発現状況を調査します。ゼヴァリン®治療は短期間の入院で行い、一般的にその後は外来で経過観察となります。そのためゼヴァリン®治療による副作用の発現頻度、発現時期等を明らかにすることは、副作用対策に対して重要であると考えました。

○ 研究対象者

平成22年8月1日から平成27年12月31日までに、広島大学病院 血液内科にてゼヴァリン®治療を行った患者を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は、患者基本情報（身長・体重など）、治療歴、血液検査（白血球数、好中球数、血小板数など）、副作用発現状況 です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 研究期間 委員会承認後～平成32年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5578

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 吉川 博（担当者）